

株主・投資家の皆様へ

yokowo

第**73**期 中間株主通信

2010.4.1~2010.9.30

株式会社 **ヨコオ**

第73期（2010年度）の第2四半期決算及び通期見通しなどについて、徳間 孝之 代表取締役兼執行役員社長にインタビューしました。



中間期の概況についてお聞かせください。

本年度の中間期は、売上高・営業利益が年度当初の予想を上回りましたが、一方で、急激な円高に伴い為替差損が生じ、経常利益・四半期純利益は当初予想の水準となりました。

セグメント別売上高では、車載通信機器・回路検査用コネクタが伸長しました。

車載通信機器では、国内の自動車購入支援策や北米での順調な新機種立ち上げの効果などにより、主力製品であるマイクロアンテナの売上が堅調に推移しました。また、地デジ化促進への的確な対応強化により、フィルムアンテナの売上が予想を上回る結果となりました。

回路検査用コネクタでは、国内の家電製品購入支援策、世界的な半導体需要の急回復などにより、主力製品であるIC検査用BGAソケットを中心に売上が回復し、前年同期比で約40%増となりました。

無線通信機器は、高性能・高機能スプリングコネクタ（防水・防塵など）の積極的な拡販策による、販売先・製品構成の多様化や、医療用カテーテル向け微細部品の売上構成比上昇といった構造変化が進んでおりますが、携帯電話機向けアンテナの不振などにより、売上は前年同期比でほぼ横ばいとなりました。

通期の見通しについてはいかがでしょうか？

国内の自動車の購入支援策終了・縮小の影響が当初予想よりやや大きい、1米ドル=80円水準の円高が当面継続する、などの不安定要素が見込まれることから、次のとおり通期の業績予想を修正いたしました。

- ・連結売上高 27,500百万円（同 額）
- ・連結営業利益 1,700 〃（+13.3%）
- ・連結経常利益 1,300 〃（▲10.3%）
- ・連結当期純利益 1,000 〃（同 額）

配当の見通しに変更はありますか？

今のところ、中間配当は9円で決定し、期末配当も当初予想どおり9円の見通しとしております。

今後も、基本方針に基づく安定的な配当の継続的实施をベースとして、業績に応じた配当等、総合的な株主還元の充実を目指してまいります。

先日実施しました株主アンケートについての感想をお聞かせ下さい。

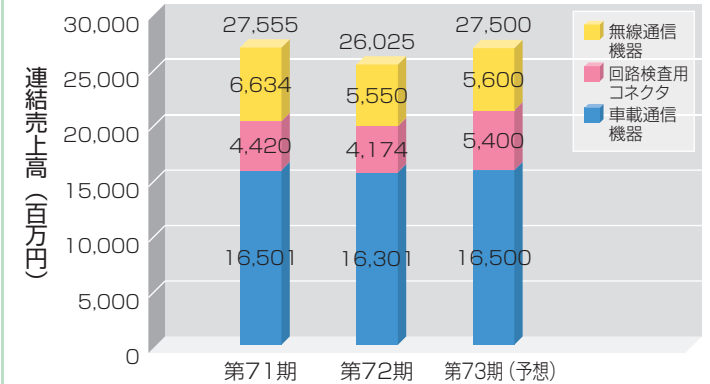
沢山のご意見・ご要望をいただきありがとうございました。株式を長期保有していただいている株主様が多く、その理由として戦略や経営陣、安定した配当や業績を評価することを挙げていただいた株主様が多いことは実に嬉しく思います。その一方で、含み損状態にあるため保有し続けているとの理由も挙げられており、そのことに関しましては社長として真摯に受け止めなければならないと考えております。

最後に一言お願いします。

今回のアンケートでは多数の励ましや叱咤の声をいただき誠にありがとうございます。現在当社では中期経営目標として「連結売上高300億円への回帰」及び「ミニマム8（エイト）の達成」を掲げており、その達成により株主価値の向上に寄与したいと考えております。

株主の皆様におかれましては変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

連結部門別売上高推移



<全社成長戦略の基本的考え方>

- 主要3事業（VCCS/CTC/FC）に続く第4の軸となる事業の早期確立
- 主要3事業の分野においては、従来の日・米・欧先進国主体の事業展開から、中国・ブラジル・インド・ASEAN等新興諸国に重点を置いた事業展開の推進
- 部品コンポーネントレベルの製品から、より付加価値の高いシステム製品への展開



シャークフィンアンテナ



マイクロアンテナ

車載通信機器

VCCS事業

主要製品
車載用マイクロアンテナ、中継コード、地上デジタルTV用フィルムアンテナ、GPSアンテナ

事業の成長基本戦略

- ・新アプリケーション領域/システム製品領域での核製品事業の創出
- ・グローバル市場、特に新興国等成長市場での事業拡大

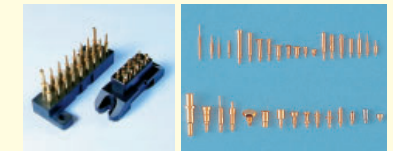
FC事業

無線通信機器

主要製品
スプリングコネクタ

事業の成長基本戦略

- ・モノ構造（単一の製品/市場/高耐久スプリングコネクタ スプリングコネクタピン加工技術）からの脱却に向けた、新製品/新市場/新加工技術の創出
- ・携帯電話（特にスマートフォン領域）市場向け戦略製品の開発・投入による事業拡大



MD事業

主要製品
医療用カテーテル用微細部品・ユニット

事業の成長基本戦略

- ・カテーテル/内視鏡処置具部品市場における国内No.1ポジションの確立と海外市場本格開拓



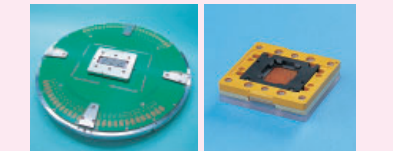
CTC事業

回路検査用コネクタ

主要製品
半導体後工程検査用治具（IC検査用BGAソケット等）、半導体前工程検査用治具（ウエハ検査用プローブカード等）

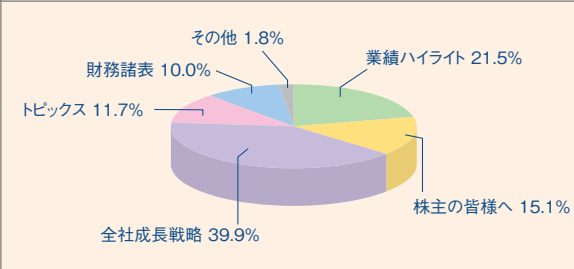
事業の成長基本戦略

- ・前工程検査領域の本格事業化と「ターンキーベンダー」への進化
- ・後工程検査領域における海外展開のさらなる拡大



株主の皆様（2010年3月31日時点）を対象に、ハガキによるアンケート調査を実施し、多くの株主の皆様からご回答をいただきました。下記に、お寄せいただいた内容の一部を報告させていただきます。
アンケートにご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。皆様から頂戴いたしましたご意見・ご要望を真摯に受け止め、今後の経営やIR活動に活かしてまいります。

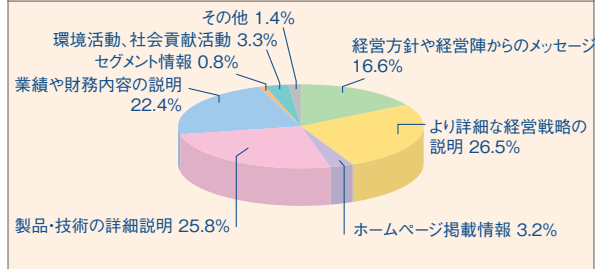
Q. 今回の株主通信(6月に発行)で興味を持った記事は?



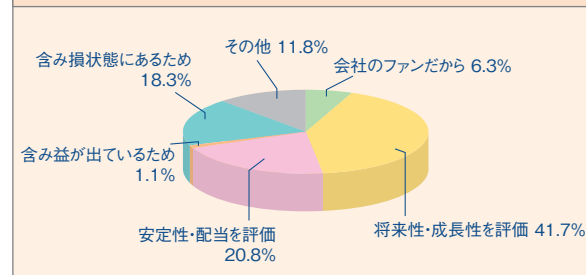
前回の株主通信で興味をもっていただけた記事は、主に「全社成長戦略」、「業績ハイライト」、「社長の株主の皆様に対する挨拶」だったようです。

また、今後充実してほしい情報は「より詳細な経営戦略の説明」、「製品・技術の詳細説明」、「業績や財務内容の説明」を希望される株主様が多い結果となりました。その中で「より詳細な経営戦略」に関しまして本冊紙のP3～P4に事業部ごとの経営戦略を特集として採り上げましたのでご覧下さい。

Q. 今後充実してほしい情報は?



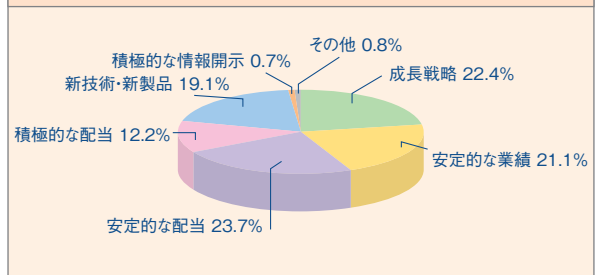
Q. 当社株式を保有されている理由は?



株式を保有されている理由といたしまして「将来性・成長性を評価」、「安定性・配当を評価」というご回答が多い一方で、「含み損状態にあるため」と答えられた株主様も多数いらっしゃいました。

また、株式を保有する上での重要要素は「成長戦略」、「安定的な業績」、「安定的な配当」でおおよそ3分の2を占めました。

Q. 当社株式を長期保有するためのもっとも重要な要素は?



連結貸借対照表 (要旨)

科目	(単位：百万円)	
	第73期第2四半期 (2010年9月30日現在)	(参考データ) 第72期 (2010年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	15,066	14,265
現金及び預金	4,921	4,848
受取手形及び売掛金	6,645	6,097
たな卸資産	2,685	2,523
その他	814	796
固定資産	7,882	8,686
有形固定資産	5,384	5,787
無形固定資産	587	648
投資その他の資産	1,910	2,249
資産合計	22,949	22,951
負債の部		
流動負債	6,465	6,015
支払手形及び買掛金	3,510	3,100
1年内返済予定の長期借入金	1,300	1,300
その他	1,654	1,615
固定負債	1,834	1,914
長期借入金	600	600
その他	1,234	1,314
負債合計	8,300	7,929
純資産の部		
株主資本	15,668	15,368
資本金	3,996	3,996
資本剰余金	3,981	3,981
利益剰余金	8,680	8,380
自己株式	△ 990	△ 990
評価・換算差額等	△ 1,019	△ 346
純資産合計	14,648	15,021
負債純資産合計	22,949	22,951

POINT

・業務量増加に伴い売掛債権及び仕入債務が共に増加いたしました。

連結損益計算書 (要旨)

科目	(単位：百万円)	
	第73期第2四半期累計 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)	(参考データ) 第72期第2四半期累計 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)
売上高	14,210	12,344
売上原価	10,915	9,592
売上総利益	3,295	2,752
販売費及び一般管理費	2,377	2,293
営業利益	917	458
営業外収益	45	43
営業外費用	345	281
経常利益	617	221
特別利益	22	150
特別損失	34	111
税金等調整前四半期純利益	604	260
法人税、住民税及び事業税	236	110
法人税等調整額	△ 116	57
四半期純利益	484	92

POINT

・売上高の増加及び売上原価率の低減により、営業利益が増加いたしました。
・円高に伴う為替差損が3億円発生いたしました。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

科目	(単位：百万円)	
	第73期第2四半期累計 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)	(参考データ) 第72期第2四半期累計 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	875	263
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 242	△ 71
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 281	△ 116
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 301	△ 219
現金及び現金同等物の増減額	50	△ 143
現金及び現金同等物の期首残高	4,848	4,991
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,898	4,847

POINT

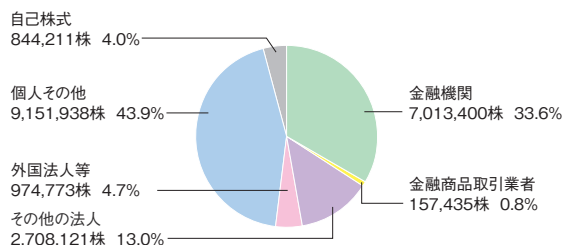
・営業利益の増加に伴い営業活動によるキャッシュ・フローが大幅に増加しました。

会社の概要 (2010年9月30日現在)

- 商号 株式会社ヨコオ
- 本社所在地 〒114-8515
東京都北区滝野川七丁目5番11号
- 創立 1922 (大正11) 年9月1日
- 設立 1951 (昭和26) 年6月14日
- 資本金 39億9,626万円
- 従業員数 単体：520名 (前期末比21名増)
連結：3,996名 (前期末比31名増)

株式分布

所有者別株式数分布状況



株式の状況 (2010年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 40,000,000株
- 発行済株式の総数 20,849,878株
(自己株式844,211株を含む)
- 株主数 6,308名
- 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1,418千株	7.0%
株式会社群馬銀行	990	4.9
ヨコオ取引先持株会	678	3.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	600	3.0
三菱UFJ信託銀行株式会社	595	2.9
資産管理サービス信託銀行株式会社	540	2.7
ヨコオ自社株投資会	517	2.5
第一生命保険株式会社	451	2.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	446	2.2
株式会社りそな銀行	445	2.2

※持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
※出資比率は自己株式を除いて算出し、小数点第2位以下を切り捨てて表示しています。

Web Information

弊社では株主及び投資家の皆様に対し、財務情報・技術情報・IR情報等の情報開示を積極的に行っております。

当社のことをより良く理解いただくためにまだご覧になられていない方はぜひ一度アクセスしてみてください。

<http://www.yokowo.co.jp/>
(ホームページアドレス)

トップページ



情報を充実させ皆様方のご利用をお待ちしております。

IRページ



各種IR・リリース情報を随時、情報開示しており最新情報のご確認が出来ます。